



八重さくら

第1号

【学校教育目標】

力いっぱい自分の能力を伸ばそう
みんなで考え実行しよう
健康で心ゆたかな人になろう

令和8年度を迎えて

校長 佐々木 仁

今年度、武蔵野市立第六中学校第十五代校長として着任しました、佐々木 仁(ささき じん)と申します。風通しのよい校長室、職員室を心掛けてまいります。これからよろしくお願いいたします。

令和8年度が始まりました。保護者の皆様、お子様の入学並びに進級、誠におめでとうございます。

本校は、開校56年目を迎えました。これは、地域並びに保護者の方々が、「将来地域を支えていく人材を育てている」という学校の役割を常にご理解くださり、温かく見守ってくださったからこそ、築かれてきた歴史だと思えます。今年度も、豊かな人間性と確かな学力を養い、心身を鍛える教育実践を通して、生徒・保護者・地域の方々からの信頼に、より一層応える学校づくりを目指していこうと考えております。

【本校の教育目標】

わたくしたちは想像する。

未来に生きる人づくりをめざし、たがいに心を通わせ、真実を学び教える。

武蔵野の自然を愛し 生命の尊さと働くことの喜びを知り 無限の可能性を追い求めていく。

- 力いっぱい自分の能力を伸ばそう
- みんなで考え実行しよう
- 健康で心ゆたかな人になろう

目指す学校像

「自らの力で将来を切り開いていくたくましい生徒を育てる学校」

- ① 一人ひとりの良さや特性が生かされ、明るく居心地のいい学校
- ② 学ぶ喜びと楽しさがある学校(分かる、習得・活用・探求)。
- ③ さわやかな挨拶や笑顔があふれ、安全で安心して生活できる学校。
- ④ 将来の夢や希望が育まれ、その実現に向けてみんなで高めあう学校。
- ⑤ 生徒・保護者・地域・教職員が相互に信頼で結ばれた学校。

生徒が心ゆたかに充実した学校生活を送り、安心して努力していくために、それぞれの良さや可能性を伸ばす場の設定と、その機会の充実、また、個に応じた働きかけ、支援を教職員が地域・保護者及び関係機関と連携して取り組んでいきます。そして、自らの力で将来を切り開いていくたくましい生徒を育成する学校を目指したいと思えます。生徒たちが健やかに成長して、やがて本校を巣立ち、いつの日か社会の一員として活躍するために、教職員一同、頑張っていきたいと考えております。ご理解とご協力の程、よろしく願いいたします。

今年度の重点

○学習指導、基礎学力の向上

数学科と英語科における少人数指導を生かし、個に対応する指導計画による習熟度別授業を実施します。また、すべての教科の授業において、生徒に学習の見通しをもたせ、個々の理解度に応じた家庭学習の課題を提示し、保護者の協力を得ながら家庭学習の習慣化を図っていきます。

○不登校生徒への対応、支援体制の整備

不登校対応巡回教員、チャレンジルーム、むさしのクレスコーレとの連携、スクールソーシャルワーカー等の活用を通して、生徒の心に寄り添った支援を進めていきます。校内別室支援教室(グリーンルーム)では、個々の生徒を受け止め、各々に応じた支援を続けていきます。また、必要に応じてフリースクールとの連携を進めるなど不登校生徒に関する理解促進をしていきます。

○特別活動の充実

学級活動、生徒会活動、学校行事や部活動などを通して、きめ細やかな指導の下、様々な場面で生徒を主体的に運営に参加させ、生徒の個性や能力を最大限発揮させるとともに、生徒会を中心とした「あいさつ運動」、「花活動」、「地域清掃」等の企画運営により、生徒に充実感と達成感を味わわせていきます。

あらゆることに取り組むのに不可欠な前向きな心情、活力を、協働的な活動、自治的な活動の中で養っていきます。

○特色ある教育活動

引き続き今年度も全校で朝読書に取り組み、気持ちを落ち着かせて授業に臨む習慣を身につけさせ、言語力の向上、特に読む力の向上を目指します。また、各学年で学習者用端末を活用したポスターセッションを行い、主体的対話的で深い学びの実践を進めます。さらに、いとすぎ学級のある武蔵野赤十字病院と連携した生命尊重の視点に立った特別の教科道徳の授業、地域や行政と連携した実践的な防災訓練を実施し、自他の生命を尊重し、社会貢献できる資質の育成を図っていきます。